



SAIE かわら版

国籍を超え、相互理解を深め、「つながり・きずな」を大切に

SAIE主催
イベント

参加者募集！

国際理解講座

フィリピンの文化紹介～今注目が高まる国・フィリピン～



みなさん、フィリピンという国はご存じですか？日本ではバナナやマンゴー、あとはセブ島のリゾートで知られていると思います。ですが、今徐々に世界で注目度が上がっていることは知っていましたか？経済や法整備、開発などが進められ老後の居住先や観光地としても注目が集まる島国フィリピンの文化と歴史を体験しませんか？

日程：10月15日(火) 午後1時半～3時


場所：コミュニティプラザ会議室3・4

定員：25名

参加費：無料

申込：協会まで電話・メールで受付

講師：矢野 アナリンさん(マニラ出身)



フィリピンの遊び「ソンカ」や民族衣装の試着体験をします。

講師からのメッセージ

みなさまはじめまして！私の名前は「矢野 アナリン」といいます。日本にはもう30年近く住んでいるフィリピーナ(フィリピンの女性こと)です。英語、タガログ語、日本語間の通訳士もしていて、家族もかわいい娘と息子が2人ずついるお母さんです。国内旅行や海外旅行が大好きで行ったところの美味しいもの巡りをするのが趣味なんです。今回は、フィリピンの良さをみなさんに知ってもらえたら良いなと思っています。



SAIE主催
イベント

参加者募集！

JICA講演会「救世主国」エルサルバドルでの生活と協力隊活動紹介



漢字で書くと「救世主国」。中央アメリカに位置する米州大陸で最も小さい国エルサルバドルは、良質なコーヒー豆の産国としても知られ、2021年は世界で初めてビットコインを法定通貨にした事がニュースになりました。1979年に政府軍とゲリラ勢力の間で内戦が勃発し泥沼化、多くの犠牲者が出て1992年の終戦後は犯罪と暴力が蔓延しました。昨今抱える問題は「マラス」と呼ばれる強大なギャング集団による権力抗争と凶悪犯罪で、政府は治安の安定、マラス一掃を重点課題にあげています。現在政府の強硬政策により世界で最も治安が悪いと言われた国は一変、日常生活で治安の悪さを感じる事は殆どありません。エルサルバドルには2022年のコロナ禍、JICA海外協力隊・日本語教育の職種で赴任しました。国と活動の話を中心に、中南米の魅力もご紹介できればと思っています。

日程：10月29日(火) 午後1時半～3時

場所：コミュニティプラザ会議室1・2

定員：25名

参加費：無料

申込：協会まで電話・メールで受付

講師：森田 英津子さん

(公益社団法人青年海外協力協会JOCA大阪)

講師からのメッセージ

首都サンサルバドルにあるエルサルバドル国立大学に赴任しましたが、コロナ禍で授業は全てオンライン。「現地の人と向き合って一緒に行える活動」を模索し続けた2年間でした。様々な要因が重なり、日本語教育に特化した活動はあまり出来ませんでした。日本や日本文化、日本語に興味を持ってもらいたいと一般の人を対象に様々な日本文化クラスを行い、そこで現地の人達と交流を深める事ができました。作品が出来あがった時の皆さんの嬉しそうな顔は今でも忘れられません。活動や日常生活で感じた喜怒哀楽、またエルサルバドルについて皆さんに知って頂けると嬉しいです。



イベント報告

社会見学2024 関空税関見学と月化粧ミルクファクトリー

開催日：5月22日(水) 午前8時出発、午後5時帰着

参加者：31名(うち外国人4名：中国、台湾、フィリピン)

今年は新型コロナウイルスも収束したので、5年ぶりに社会見学を開催しました。訪日外国人観光客も増加している関西国際空港での研修、そして大阪観光の新名所・月化粧ミルクファクトリーを見学してきました。日本語学習者の参加もありました。昼食を摂った黒潮市場ではマグロ解体ショーも見ることができ、日本文化の一端を知ることができたようです。



参加者の感想

関空税関

- 違法品の持ち込みを防ぐための努力に感激しました。
- 保安検査と税関の違い、広い分野での税関の活躍を知り、驚きました。麻薬犬の指導、活躍、日本を瀬戸際で守っている皆さんに感謝です。
- 税関の機能が良く理解できた。麻薬探知犬のしつけ方に感動した。
- 税関と入管と検疫と乗客の検査のそれぞれの担当が違うことがよく分かりました。また、麻薬犬がものすごく可愛かったです。
- 税関の仕事の難しさ、薬物取り締まりの大変さ、良いお話を聞かせていただきました。



月化粧ミルクファクトリー

- 試食が美味しく工場も清潔で良かったです。
- できたての月化粧がおいしかったです。
- 月化粧だけかと思いましたが、お菓子の種類の多さにびっくり!
- オートメーション化で人手が少なかった。
- はじめて食べましたが、美味しかったので、いろいろお土産を買ってしまいました。色々知ることができて良かったです。



日本語支援ボランティア養成講座～スキルアップ編～

地域日本語教室から発信! 『多文化共生』のコミュニティを創るために

講師：安田乙世さん(日本語教育支援グループことのは副理事長、NPO法人おおさかこども多文化センター前理事)

開催日：5月28日、6月11日、18日(火) 午後1時半～3時(全3回)

開催場所：コミュニティプラザ会議室1・2

参加者：【第1回】10名：外国にルーツを持つ子どもたちの「ことば」の状況を知ろう～母語・継承語という視点から～

【第2回】15名：大人も子どもも! 地域に暮らす“外国人”を包括的に支えるために
～大人と子どもの日本語学習支援って違うの?～

【第3回】15名：地域日本語教室の役割や仕組みを、みんなで考えてみませんか?
～コロナ後の世界の、新しい日本語教育支援とは?～

外国にルーツを持つ子どもたちや、その親たちが、異文化・異言語環境に暮らす中でのエピソードを聞かせていただきました。その声からは様々なことが透けて見えてきました。今回は普段私たちが出会うことのないような文字を実際に書き写すという疑似体験などを通して、その置かれている状況の考察を自分事として深めました。日本語という言語をいかに習得させるかということに目を向けがちになりますが、その「ことば」の学びに「受容」と「傾聴」の姿勢で寄り添うことの大切さを教えていただきました。また、できることに目を向ける/向けさせることで自信をつけるきっかけを作ることも重要だと学びました。

日本語サロン 木曜日 10:00~11:30

コロナも徐々に落ち着き、以前のような活動ができるようになってきました。お部屋での日本語学習の他に、桜を見に行ったり、学習者と一緒に水餃子を作って食べるクッキングイベントや、阿倍野にある防災センター「あべのタスカル」へ行って防災知識を学ぶなど、有意義な時間を過ごすことができました。学習者の国籍は主に韓国・中国・ミャンマーなどで、昨年6月には1人の学習者が自分の国を紹介する発表会を行い、たくさんの方にきていただき、すばらしい経験となりました。(西浦)

せつつ日本語・あじふ 土曜日 18:00~19:30

年度の後半には学習者が徐々に増え、常時3~4人が来てくれるようになり教室に活気が戻ってきました。広報せつつでボランティアを募集し、新しく参加してくれた皆さんのお陰で、学習者の対応にも余裕ができ、教室の風景をSNSに投稿したり、新たな楽しみも増えています。オンライン学習も続けており、コロナ禍からずっと続けているクラスもあります。(下川)

日本語学習会 土曜日 19:00~21:00

4月1日から3月30日までの開催日数は31日、学習者の延べ参加人数は44名。4月8日に2名の入会者があり学習者は4名になった。しかし、その後仕事や家庭事情で1名は来られなくなり、2名は寒い季節は無理ということで、11月以降は1名のみが来て学習をしていたが、最終日に久しぶりに1名戻ってこられた。職場でのコミュニケーションの取り方なども含めて相談半分学習半分で学習者は喜ばれているようだ。(大賀)

2023年度はコロナに対する考え方が変化し、私達日本語教室においてもマスクが外され、コロナ以前の日常を取り戻しつつあります。教室では、学習者の増減は有るものの、平均3~5人程度の参加がありました。又、授業内容としては、学習者個々のニーズに合わせて、和気藹々と、時には、笑い声が聞こえたりと、スムーズに進められたと思います。只、未だコロナ以前の様に、イベント等を導入できていない現状があります。来年度も今年度に引き続き、学習者のニーズにあったサポートを目指し、コロナ以前の様に参加出来るイベント等を考えていければと思っています。(石澤)

さくらクラブ 金曜日 19:00~20:30 / 日曜日 15:30~17:00

さくらクラブでは、学習者が非常に増えてきています。学習者の国籍は、ベトナム、インドネシア、フィリピン、中国、インドです。最近の学習者は夫婦で来日している人が増えているため、ほとんど日本語ができない女性も多くみられます。ボランティアはトータル4名で、日によっては2名の場合もあります。今年の1月から、NI試験合格者のベトナム人女性に参加してもらい、初心者の学習者にとって良き先生となっています。ボランティアに対して学習者の数が多いのでゲーム形式を多用したり、N2グレードの学習者にいろいろな国の人への指導をしてもらうことにより、初心者のみならずN2グレードの学習者にも勉強になるとの意見が多く出ています。また、学習者にできるだけ日本語に親しんでもらうため、みんなで楽しく過ごすことをモットーにしています。(中井)

日本語支援ボランティア募集!

日本語支援に興味がある方、全く経験はないけどやってみたい方、一緒に活動しませんか?英語ができなくても大丈夫です。見学もできます。お問い合わせは協会まで。

結果報告 と お知らせ

- 4月16日(火) 理事会開催 (コミュニティプラザ会議室3・4) 26名出席
- 4月23日(火) 定期総会開催 (コミュニティプラザ3階コンベンションホール) 合計66名出席 (個人会員40名、家族会員6名、団体会員20名、重複6名含)
- 協会では各種イベントや語学講座などでの事故に備え、団体傷害保険に入っています。参加途上も含め、もし事故に遭われましたら協会までご連絡ください。

日本語支援ボランティア養成講座：参加者の感想

- 「言葉と同時に、異文化と同化させていいのか」というのは大きな問題だと思う。
- 支援「される」立場にある人の生きづらさが、少しは理解できたような気がしました。(子どもも大人も...)
- 「差し伸べる手が多ければ、チャンスが増える」「VUCAの時代」「変わっていく」「変えていく」に関わりたいです。
- 講座を受ける前は単純に「日本語の苦手な外国人が多い」から支援が必要だ、ということかと思っていました。今だけではなく将来に影響を及ぼす問題を抱えているということを知りました。

- 来年の春から日本語学校の教師として働く予定ですが、今回子どもの日本語支援を学ぶことができ、大人への教育と共通する部分があると感じました。
- 地域での学習会にこれだけ人が集まり、一緒に学べてよかったです。安田先生のお話は具体的でわかりやすく、また認知の体験をすることで子どもたちの困り感をまだまだ少しかもしれませんが体験できてよかったです。子どもたちの生活には家庭があります。たくさん寄り添い、外国から来られた方、また今外国とつながる方が本当に安心できる摂津にしていけたらと思います。



事務局長就任のごあいさつ 山田 雅也



日頃は摂津市国際交流協会の活動にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。このたびご縁あって有山前局長の後を受け事務局長に就任いたしました。微力ではありますが、会の運営に尽力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。さて、日本国内においては、インバウンド需要がますます高まり、また、技能実習生などを受け入れる事業所も増えていきます。摂津市においても、外国人人口が増加し、交流機会もこれまで以上に盛んになるものと見込まれます。多文化共生の時代と言われるなか、外国人の方にとっても暮らしやすい摂津市であるためには、外国の文化や歴史を理解することとともに、本協会が目指す「草の根交流」がますます重要になってきます。今後とも皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

事務局長退任のごあいさつ 有山 泉



皆様方には、日ごろ摂津市国際交流協会の活動にご理解を賜り感謝申し上げます。3月末で事務局長を退任いたしました。振り返りますと、在任の3年間は、コロナ感染症予防の観点から、様々な制約を受けて、満足に事業の展開をすることができない状況が続き、会員の皆様にも多大のご迷惑をおかけしたと思っております。また、2023年度は、協会の30周年の節目の年となり、最後に数々の事業に関われたことを名誉に思っております。会長をはじめ多くの部会の理事の皆様、日本語教室の学習ボランティアの皆様、会員の皆様方には様々なご協力を賜り感謝しております。今後も引き続き協会の発展のため、会員の皆様のご協力とご指導をお願い申し上げます。3年間、本当にありがとうございました。今後、国際交流協会の担うべき役割は、増々大きくなると思っております。私も協会の一会員として微力ながら役割の一端を担わせていただきたいと思います。最後になりますが、私と協会運営の仕事をとともに進めていただいた事務局の二人の職員に感謝申し上げます。



国を象徴する動物 ペンネーム: KY



今回は私が青年海外協力隊で派遣されていた「ルワンダ」の小さな「へえ」をシェアします！

ルワンダは、東アフリカに位置する内陸国です。赤道に近く、年中暑いイメージがありますが、国全体、標高が高く、気温は25℃前後でとても過ごしやすいです。自然豊かで、国内には国立公園もあり、観光業にも力を入れています。その中でも、「ゴリラトレッキング」が有名で、世界各地から観光客が訪れるほど、人気のツアーとなっています。マウンテンゴリラは、ルワンダと周辺国の森林のみに生息しており、絶滅危惧種に指定されている希少な動物です。政府も、ゴリ

ラの保護を最優先し、保護のため、公園周辺の土地利用を制限するなどの政策を取っています。また、ゴリラの研究所や施設があり、世界各国の研究者がマウンテンゴリラの保護や研究のため、ルワンダを訪れます。ゴリラの赤ちゃんが誕生すると、伝統に則ったネーミングセレモニー「クウィタ・イジナ」が開催されます。ルワンダの紙幣にも印刷されるほど、国を象徴する動物となっています。皆さまも、ぜひ、ルワンダにゴリラを見に来てくださいね～。



募集

各種語学講座の後期

「親子DE英語」「中国語」「大人の英語」の後期(10月～3月)の受講生を若干名追加募集します。詳しくは協会まで。

広報・イベントのボランティア

協会では、年間を通してさまざまなイベントを開催しています。また、会報誌【SAIE かわら版(年4回)とSAIEレポート(年1回)】を発行しています。イベントの企画や運営、会報誌作りなどのボランティアを募集しています。私たちと一緒に楽しく活動しませんか？お問い合わせは協会まで。

摂津市国際交流協会

〒566-0021 摂津市南千里丘 5-35

摂津市立コミュニティプラザ 2F

TEL: 06-6319-6251 FAX: 06-6318-6004

Email: office@settsu-saie.org

URL: http://settsu-saie.org

開室時刻: 平日 9:30～12:00、13:00～16:30

(休館: 第4水曜日)

会員募集

●年会費: 個人: 3,000円 / 家族: 5,000円

青少年: 1,000円 / 法人・団体: 10,000円 (1口)

●当協会の事業に無料または割引での参加特典がございます。

●「かわら版」のお届けと催事参加申込みなども優先的に受け付けます。

協会 HP

